

相談しにくい「尿失禁」「骨盤臓器脱」 医師のサポートで改善可能

倉敷成人病センター 女性泌尿器科・黒田 まゆら先生に聞きました



女性泌尿器科 黒田 まゆら先生（広島県出身）

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、泌尿器ロボット支援手術ブロッカー、手術支援ロボット「ダビンチ」執刀ライセンス（泌尿器科）

骨盤臓器脱チェックリスト

股の違和感は？

- ☐ 何かが下がった感じで尿が出にくい
- ☐ 何かが下がってくると強い尿意をもよおす
- ☐ 長時間立ちっ放し、重い物を持つなどで何かが下がってくる感じがする
- ☐ 排便時にいきむと、膣から何か出てくる
- ☐ お風呂でしゃがむと、股間に何か触れる
- ☐ 出ている部分を押し上げて、排便・排尿をする

腹圧性尿失禁 チェックリスト

尿が漏れるのはいつ？

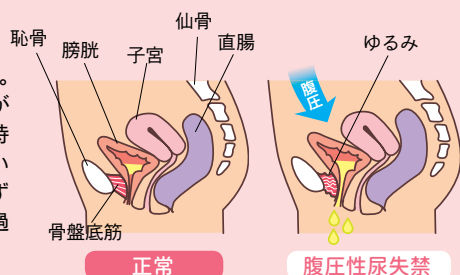
- ☐大爆笑した時
- ☐くしゃみや咳をした時
- ☐重い物を持った時
- ☐運動をしている時
- ☐駆け足をした時
- ☐歩いている時
- ☐立った時

「恥ずかしい」という理由から、受診をためらう人が多い泌尿器科。倉敷成人病センターでは、女性特有の病気に女医が対応する「女性泌尿器科」を設けています。「尿失禁」や「骨盤臓器脱」など、骨盤底の障害の治療に力を注ぐ、黒田まゆら先生に症状や治療について聞きました。まずは左のチェックリストで症状の確認を。

※いずれも一つでも症状があれば病気が疑われます

尿失禁

意志とは関係なく尿が漏れる症状。恥骨と膀胱をつないでいる骨盤底筋が緩むことで、おなかに圧がかかった時に尿が漏れるのを「腹圧性尿失禁」という。急な尿意をもよおして我慢できず漏れてしまうのを「切迫性尿失禁」（過活動膀胱の一つの症状）という。



骨盤臓器脱

骨盤底筋が緩むことで、骨盤にある臓器である子宮、膀胱、直腸などが下がり、腔から外に出てしまう病気。脱出する臓器によって「膀胱瘤」「子宮脱」「直腸瘤」などに分かれる。

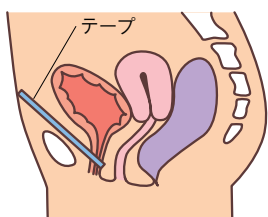
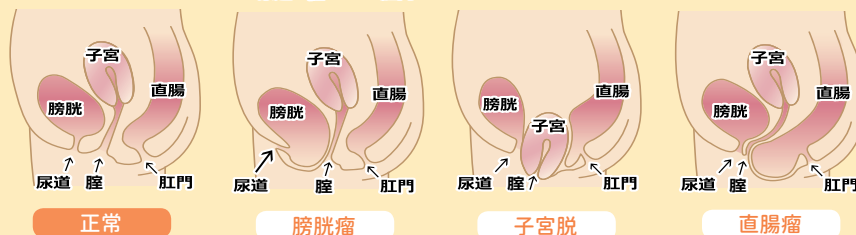


図1・腹圧性尿失禁に有効な「TVT手術」のイメージ

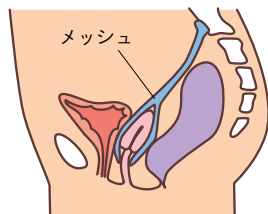


図2・骨盤臓器脱に有効な「ロボット支援下仙骨固定術」のイメージ

尿失禁も骨盤臓器脱も患者さんの意志・希望があれば、手術は大変有効です。

「腹圧性尿失禁」では、恥骨と尿道をつなぐ骨盤底筋の緩み・破綻が原因ですので、テープで尿道を支える「TVT手術」を行います。

TVT手術は、経膣からアプローチする術式です。尿道の下の膣約1cmを切開し、テープで尿道を支えます(図1)。手術時間は30分程度で、術後は、尿が出にくくなって、いなかさを確認して、4日間の入院期間で退院できます。

「切迫性尿失禁」は、内服薬で治療を行います。「骨盤臓器脱」では、「口ポット」支援下、仙骨脛固定術を行います。

下腹部に1cm前後の穴を4カ所開け、アプローチする術式です。医療用メッシュを膣の前後に挿入して、子宮摘出部に縫合します。

手術は、全身麻酔で手術時間は3時間ほど。入院期間は5日〜1週間です。

手術後は、再発防止のために骨盤底筋体操の指導を行っています。「早く手術をしてあげばよかったです」という声が聞かれます。不快感を我慢せず、専門のサポートをお勧めします。

腹圧性尿失禁には「TVT手術」、骨盤臓器脱には「ロボット支援下仙骨脛固定術」が有効

「骨盤底筋体操」で症状改善



診察後は、骨盤底筋体操にチャレンジ。基本動作を10回セット、1日数回続けましょう。院内では体操指導も実施しています。



骨盤底の障害は、婦人科の診察領域とも関わりがあるため、婦人科との連携も取っています。写真は、手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」の前で。黒田まゆら先生（左）と、婦人科・澤田麻里先生

電話相談のご案内 相談無料

お問い合わせ受付後、看護師より折り返しご連絡をいたします。
※恐れ入りますが、非通知設定解除後、発信をお願いいたします。

\\ **このような症状はありませんか？** //

- ✔ 歩いただけで、尿がもれる
- ✔ 股に何か挟まっているような異物感
- ✔ 夕方になると不快感や異物感が強くなる
- ✔ 尿が出にくい・残便感がある

尿もれ・骨盤臓器脱(子宮脱など)
電話相談専用ダイヤル

☎090-6844-2111

受付時間 毎週月～金曜 11:00～13:00 (祝日・年末年始除く)

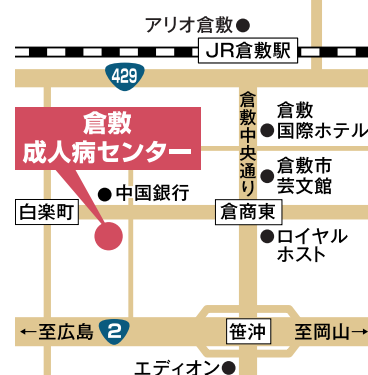
紹介状なしで受診できます。

お部屋は「全室個室」

特別室3室を除く
部屋代無料



シャワー、トイレ、
フリーWi-Fi完備、
入院中のタオル貸出無料



一般財団法人
倉敷成人病センター
Kurashiki Medical Center

住所 岡山県倉敷市白楽町250
TEL 086-422-2111 (代表)